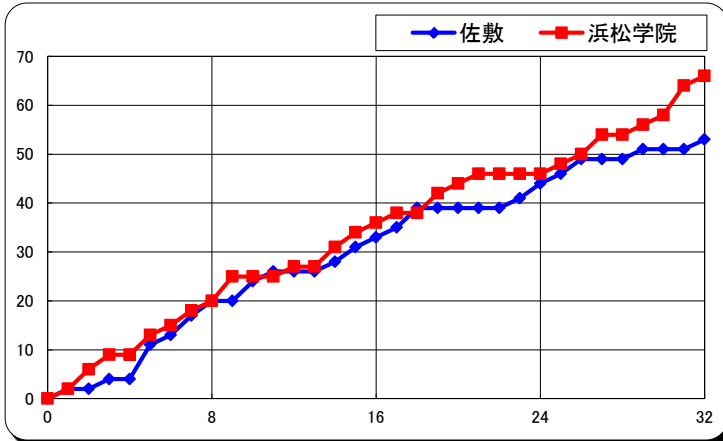




THE 44th ALL ALL JAPAN  
Jr HIGH SCHOOL

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 14:50																
コート	T Aコート 第5試合																
カテゴリー	男 予選リーグC																
主審	玉木 彰治 (本部)																
副審	山口 烈士 (香川)																
Team A		Team B															
佐敷	53	66 浜松学院															
沖縄 ●	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>13</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>9</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	20	1st	20	13	2nd	16	11	3rd	10	9	4th	20	OT			静岡 ○
20	1st	20															
13	2nd	16															
11	3rd	10															
9	4th	20															
OT																	

【BOXスコア】

Team A		佐敷						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	平良 海斗	×	13	3	2	0	1	
5	屋比久 空	DNP	0	0	0	0	0	
6	宮城樹稀弥	/	0	0	0	0	1	
7	仲里 公希	DNP	0	0	0	0	0	
8	金城 大樹	DNP	0	0	0	0	0	
9	與那嶺佑樹	DNP	0	0	0	0	0	
10	我如古幸永	DNP	0	0	0	0	0	
11	照喜名喜一郎	DNP	0	0	0	0	0	
12	知念 大成	DNP	0	0	0	0	0	
13	宮城 拓三	DNP	0	0	0	0	0	
14	親川 玄	×	18	1	7	1	0	
15	高橋 英寿	DNP	0	0	0	0	0	
16	宮城 洋希	×	9	1	3	0	0	
17	吉田龍太郎	×	10	0	5	0	2	
18	與那嶺幹也	×	3	1	0	0	0	
監督	前花 和秀						0	
コーチ	仲里 純一						0	
合	計		53	6	17	1	4	

Team B		浜松学院						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	亀山 憧弥	×	6	0	3	0	1	
5	ダシルバヒサシ	×	21	2	7	1	2	
6	常田 耕平	×	8	0	4	0	0	
7	石川 晴道	×	15	1	6	0	0	
8	早川 和輝	×	16	0	8	0	0	
9	前嶋 健汰	DNP	0	0	0	0	0	
10	河合 優作	DNP	0	0	0	0	0	
11	小川 博行	DNP	0	0	0	0	0	
12	山村 吏玖	DNP	0	0	0	0	0	
13	赤土 大介	DNP	0	0	0	0	0	
14	長坂 元暉	DNP	0	0	0	0	0	
15	若山 武瑠	DNP	0	0	0	0	0	
16	葉山 大誠	DNP	0	0	0	0	0	
17	中村 健生	DNP	0	0	0	0	0	
18	深田 怜音	DNP	0	0	0	0	0	
監督	森下 貴之						0	
コーチ	石川 友康						0	
合	計		66	3	28	1	3	

【戦評】

九州ブロック代表佐敷と東海ブロック代表浜松学院の一戦。1Q、佐敷はマンツーマンDef、浜松学院は1-3-1ゾーンDefでスタート。佐敷が先取点を奪うも、浜松学院は高さを活かした攻撃で得点を重ね、序盤は9-4と浜松学院が主導権を握る。しかし、佐敷は浜松学院のゾーンDefに徐々に慣れ、#17のミドルシュート、#4の3Pなどで小気味よく得点、1Qは浜松学院20-20佐敷と同点で終了。2Q、序盤は両チームとも無得点の時間帯が続く。中盤から浜松学院は#5、#6の速攻、#8のポストプレーでリズムをつかむが、佐敷も#16の3P、#4のミドルシュートで追いかける。前半は浜松学院36-33佐敷で折り返す。

3Qは序盤、佐敷#14が連続得点をあげて一時逆転。しかし、浜松学院は2-3ゾーンDefを仕掛けて佐敷の攻撃を4分無得点に封じ、その間#7、#5の得点などで46-39と再逆転。タイムアウト後、佐敷はタイトなDefで浜松学院のミスを誘い、#14の連続得点で追いつき、浜松学院46-44佐敷でと予断を許さない展開。4Qも序盤2分間は一進一退の展開であったが、佐敷#4が負傷退場を機に形勢が浜松学院に傾く。浜松学院が#8ポストプレーなどで着実に得点するのに対して佐敷はミスを重ね、浜松学院66-53佐敷で試合終了。最終13点差となったが、高さの浜松学院に対して小柄な佐敷が対峙、最後まで予断を許さない好ゲームであった。

【戦評記入者】

三本 康一郎